

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
釧路の古人骨に期待する	高山博	1986	9	301	17	130
「動」から「静」に	黒坂博	1986	11	302	17	142
増えた魚と増やした魚	加藤禎一	1987	1	303	18	2
釧路湿原国立公園指定に思う 田中瑞穂先生の国立公園構想提言	小川安久	1987	3	304	18	14
博物館に一層のお力添えを	武永義規	1987	5	305	18	26
春採湖への期待	角田富男	1987	7	306	18	38
国立公園誕生に思う	澤四郎	1987	9	307	18	50
釧路市立博物館との出会い	根本直樹	1987	11	308	18	62
地方の博物館として・職員として	土屋周三	1988	1	309	18	74
釧路市立博物館50年の歴史に思う	吉田國吉	1988	3	310	18	86
海外研修で学んだこと	林浩之	1988	5	311	18	98
「どんな動物園作りを目指しますか？」	井上雅子	1988	7	312	18	110
私と博物館との関わり	中川元	1988	9	313	18	122
片岡新助初代館長をしのぶ	澤四郎	1988	11	314	18	134
釧路市立博物館と私	後藤秀彦	1989	1	315	19	2
根室市博物館開設へ向けて	川上淳	1989	3	316	19	14
大型哺乳類の生態調査と自然教育への活用	宇野裕之	1989	5	317	19	26
田舎の博物館	近藤憲久	1989	7	318	19	38
生涯教育と博物館	川辺百樹	1989	9	319	19	50
学芸員のグチと希望	平川善祥	1989	11	320	19	62
新しい年を迎えて	澤四郎	1990	1	321	19	73
釧路湿原国立公園と釧路市立博物館	小坂橋延弘	1990	3	322	19	85
当博物館の果たす役割	角田憲治	1990	5	323	19	97
湿原の蟹	増永晃一	1990	7	324	19	110
生涯学習の場としての条件整備にあたって	波多野實	1990	9	325	19	122
釧路湿原の調査をはじめたころ	岡崎由夫	1990	11	326	19	134
スイス・モントルーで考える	澤四郎	1991	1	327	20	2
もう昆虫写真を止めようと思いつつ博物館へ	尾崎一夫	1991	3	328	20	14
博物館と自然保護	村上肇	1991	5	329	20	26
野鳥の会と探鳥会	長澤広治	1991	7	330	20	38
「釧路古文書研究会」のこと	佐久間令次	1991	9	331	20	50
博物館との関わり	高居昌輝	1991	11	332	20	62
年頭に寄せて	澤四郎	1992	1	333	20	74
宇宙からの目	西尾文彦	1992	3	334	20	86
生涯学習と博物館	小笠原立男	1992	5	335	20	98
博物館と生涯学習	波多野實	1992	7	336	20	110
21世紀にらんだ温故知新	遠藤利雄	1992	9	337	20	122
アイヌ文化懇話会を通しての生涯学習	松本成美	1992	11	338	20	134
季節…めぐって春採湖…	小笠原立男	1993	1	339	21	2
阿寒川水系総合調査を終えて	岡崎由夫	1993	3	340	21	14
イタオマチブの作成		1993	6	341	21	26
博物館まつり	山代淳一	1993	9	342	21	38
貝塚公園オープン	石川朗	1993	12	343	21	50
カタクリ	小笠原立男	1994	3	344	21	62
博物館移動展開催	山代淳一	1994	6	345	21	74
湿原ネイチャーハイク	新庄久志	1994	9	346	21	86
移動博物館	橋本正雄	1994	12	347	21	98
ある石碑の誕生	小笠原立男	1995	3	348	21	110
随想・釧路沖地震と北海道沖地震	岡崎由夫	1995	4	349	22	2
アネハヅルとタンチョウ	林田恒夫	1995	7	350	22	14
総合的な総資源総活用型の活動に期待する	澤四郎	1995	10	351	22	26
年頭にあってー60年の重みー	小笠原立男	1996	1	352	22	38
春採湖と博物館	石黒靖敏	1996	4	353	22	50
澤四郎先生を偲んで	河野本道	1996	7	354	22	62
“おさかなセミナーくしろ”と博物館	鶴田義成	1996	10	355	22	74
博物館のもうひとつの役割	山田和弘	1997	1	356	22	86
思い出の博物館	松尾恵子	1997	4	357	22	98
釧路湿原に思う	川澄重雄	1997	8	358	22	110

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
21世紀の足音が聞こえるー多様性と共生の世界ー	小川安久	1997	11	359	22	122
学校教育と文化施設	明日見昌則	1998	1	360	22	134
開かれた博物館をめざして	七田龍夫	1998	5	361	23	2
野外展示物のさらなる活用	奈良敏秀	1998	8	362	23	2
湖は生きている	伊藤俊彦	1998	10	363	23	2
市民の博物館	綿貫健輔	1999	1	364	23	2
博物館の広聴活動	七田龍夫	1999	5	365	23	2
博物館実習	神田房行	1999	8	366	23	2
釣りと化石	吉川督教	1999	12	367	23	2
感性を磨く博物館	藤田民子	2000	2	368	23	2
期待	七田龍夫	2000	5	369	23	2
愛されて春採湖	大西英一	2000	8	370	23	2
子どもと博物館	月見八紘	2000	11	371	23	2
私の博物館考	稲田伊史	2001	2	372	23	2
博物館への思い	鍛冶哲郎	2001	5	373	24	2
私の博物館の歴史	西川利隆	2001	9	374	24	2
子どもたちにとっての移動博物館	麻生克彦	2001	11	375	24	2
釧路の魅力ー博物館の鯨の骨ー	藤田英治	2002	3	376	24	2
博物館が夢の宝庫	奥宮恪	2002	6	377	24	2
がんばって博物館	小川安久	2002	9	378	24	2
博物館とのかかわり	山代昭三	2003	1	379	24	2
ゴミ捨て場現代の貝塚?考古学と考現学のはざま	高山博	2003	3	380	24	2
毛綱建築によせて	西澤岳夫	2003	5	381	24	2
「本当に釧路湿原は必要なの?」	中谷正彦	2003	8	382	24	2
博物館での授業	神田房行	2003	11	383	24	2
夢はつづくー電子博物館ー	奥宮恪	2004	3	384	24	2
再び博物館へ	西幸隆	2004	5	385		
市民の宝・春採湖	伊藤正司	2004	8	386		
冬の霧	伊東俊明	2004	12	387		
史跡活用と人の出会い	西幸隆	2005	3	388		
自然と人に魅せられて	佐藤直樹	2005	5	389		
ザリガニと博物館	蛭田眞一	2005	8	390		
「おさかなセミナーくしろ」と博物館	平川和正	2005	11	391		
博物館人としての人生	西幸隆	2006	3	392		
より親しまれる博物館めざして	小野崎健悟	2006	5	393		
石炭ストーブの思い出	佐藤富喜雄	2006	8	394		
博物館で思うこと	川合昭夫	2006	12	395		
わたしの思い出箱	中塚美恵子	2007	3	396		
博物館と私	西山富美男	2007	6	397		
「タイムカプセル」ではない博物館	島田季一	2007	11	398		
道東の夢とロマンを!	野々村邦夫	2008	3	399		
館報400号に寄せて	西幸隆	2008	9	400		
「NHKアーカイブス」の地域社会への還元ー“筑豊の炭坑”番組上映会を市立博物館と共催してー	井上利秋	2008	12	401		
新年度のスタートにあたって	西山富美男	2009	3	402		
鉄道の街 釧路から	星匠	2009	11	403		
Motto Museum で学芸員を知る	錦谷みどり	2010	1	404		
世紀を超えた石炭の縁(えにし)	佐伯浩之	2010	3	405		
爆破すべきでない博物館	佐藤仁	2011	2	406		
博物館は市民の宝もの置き場	澤村寛	2011	3	407		
「つなぎ・つなげる・つながる博物館」のために	小松正明	2011	9	408		
「出会い ふれあい 学び合い」の博物館	佐藤芳雄	2012	3	409		
冬来たりならば春遠からじ	栗原祐司	2012	9	410		
釧路沖を巡る～海の王を求めて～	笹森琴絵	2013	3	411		
よみがえれ春採湖!	木村俊宏	2013	9	412		
30周年の交点	安蘇龍生	2014	3	413		
博物館と共に歩む	杉山範雄	2014	9	414		

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
ご近所付き合い	阪野真人	2015	3	415		
万人の楽しむ博物館に！	白幡敏弘	2015	9	416		
釧路市立博物館の魅力	山口隆	2016	3	417		
80周年・進化し続ける博物館	白幡敏弘	2016	9	418		
博物館で35年	山代淳一	2017	3	419		
釧路の海の水中撮影	関勝則	2017	9	420		
博物館の魅力	安房翼	2018	3	421		
釧路ブランドを地域に、そして世界に。	佐藤志敦	2018	9	422		
写真展・あの頃の釧路	木村浩章	2019	3	423		
博物館友の会に入って	五戸昭維	2019	9	424		
学芸の殿堂、博物館	新庄久志	2020	3	425		
やっぱり釧路は我がふるさと	室内昭三	2020	9	426		
釧路の郵便局の歴史を振り返って	前川英樹	2021	3	427		
私と博物館	高嶋晃治	2021	9	428		